

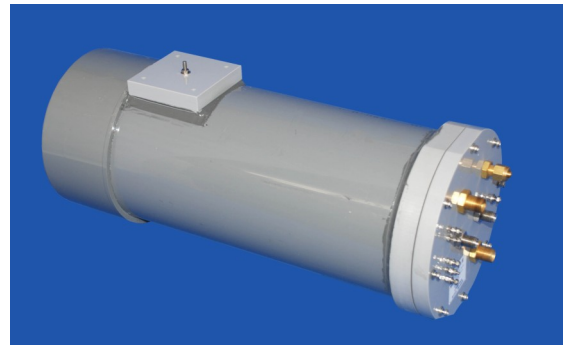
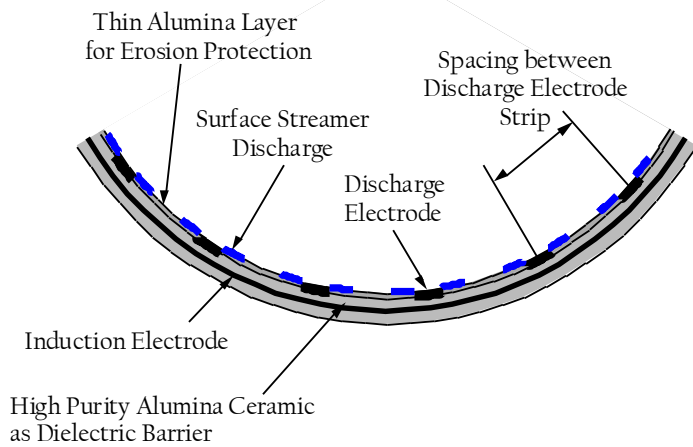
循環冷却式沿面放電管

OC-70/CJ

概要

本循環冷却式沿面放電管はSPCP (Surface discharge induced Plasma Chemical Process) 技術によって作製した円筒型沿面放電管 (SPCP放電管: ET-OC70G-D) に円筒状に加工した銅板に一体的に銅パイプを取付け、それらを熱伝導シリコンを介して取り付けたものです。銅パイプ内に冷却水を供給すれば、水冷式オゾン発生管として使用できます。また、ヒートポンプ回路の冷媒液を供給し蒸発器として用いるとヒートポンプ冷却式オゾン発生管とすることが可能となります。全体を塩ビ管の内部に収納することで、オゾン発生管を低温 (~ -40°C) としても結露を防止することが可能です。

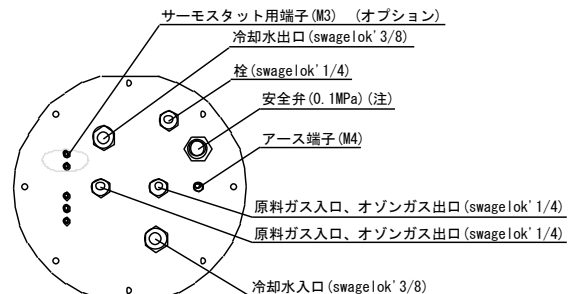
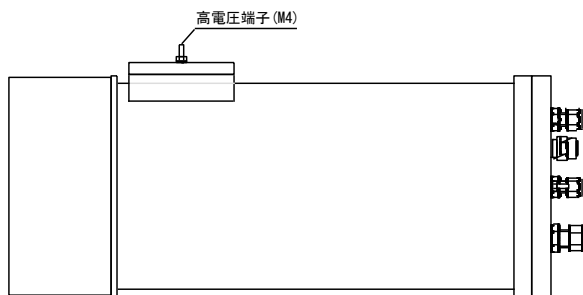
SPCP素子の構造



循環式沿面放電管
OC-70/CJ

仕様

型式	OC-70/CJ
構成	円筒型SPCP素子(型式:ET-OC70G-D)に円筒状に加工した銅板に一体的に銅パイプを取付け、それらを熱伝導シリコンを介して取り付けたもの
外形	184 mmW x 205 mmH x 430 mmL (配管突起含まず)
円筒型SPCP素子	型式:ET-OC70G-D (放電電極間隔:5mm)
温度センサー	放電管過熱検出による運転停止 サーモスタット1ヶ(設定温度70°C)



(注)
オゾン発生管は、オゾン発生管と外管の間に密閉された乾燥空気により断熱されます。安全弁は、万一のガス、水漏れ時に乾燥空気の圧力が上昇した際、圧力を逃がし大きな事故を防ぎます。

外形図